

2026年3月4日(水)

デジタルグリッド株式会社

デジタルグリッドのサービス採用の病院が急増中 価格変動リスク低減へ 市立秋田総合病院も導入

デジタルグリッド株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 CEO：豊田祐介、以下「当社」）は、地方独立行政法人 市立秋田総合病院（秋田県秋田市、以下「市立秋田総合病院」）が、当社のオーダーメイド方式の電力調達について、2026年4月1日より価格変動リスクを抑制しながら、電力価格を抑えられる仕組みを導入することをお知らせいたします。

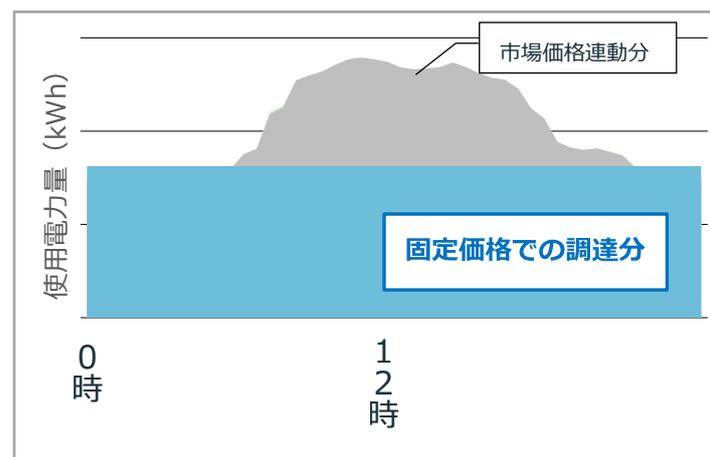
全国の病院では、厳しい病院経営を背景に当社のサービスを導入いただく事例が急増しており、2022年以降、これまでにご利用いただいた医療機関は70を超えました。（3月1日時点）

当社は今後も多様なサービスを提供し、お客様がコストや脱炭素方針に応じた電力調達を選択できるよう支援してまいります。



24時間稼働する医療現場の電力を最適化

市立秋田総合病院は、二次救急病院として24時間体制で患者を受け入れています。医療機器や空調設備などを常時稼働させる必要があり、昼夜を問わず電気が使われています。

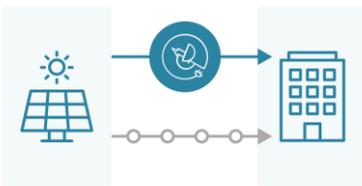


同病院は、経営改善に向けたプロジェクトチームを設置して積極的にコスト削減に取り組む中で、2025年4月から当社の電力取引市場（デジタルグリッドプラットフォーム*）の利用を始めました。また2026年4月からは、一部の電力を固定価格で調達して市場価格調達分と組み合わせます。これにより、価格変動リスクを抑制しながら、電力価格を抑えることが可能になります。

*デジタルグリッドプラットフォーム（DGP）とは

電力の小売全面自由化後、デジタルグリッドが立ち上げた日本初の民間による電力取引市場。利用企業数は**1200社**を突破し、医療や製造、宿泊・観光、地方自治体など**3400以上の「電力使う拠点」**と、全国各地**1400以上の「発電拠点」**が日々、取引しています。

直接取引による中間コストを削減



安定的な売先を確保



一定割合の電気代を固定化



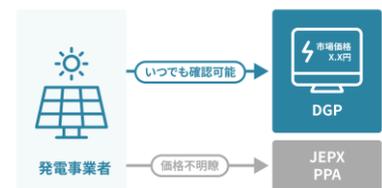
精度の高い需給管理



再エネ電力を望む割合で調達



価格の透明化



会社概要

▶令和7年度 気候変動アクション環境大臣賞 ▶令和6年度 新エネ大賞「新エネルギー財団会長賞」

会社名：デジタルグリッド株式会社 (<http://www.digitalgrid.com/>)

代表者：代表取締役社長 CEO 豊田祐介 【東証グロース市場 350A】

設立：2017年10月 資本金：1,139百万円 従業員数：92名（2月1日現在）

所在地：東京都港区赤坂1-7-1 赤坂榎坂ビル3階

事業内容：電力及び環境価値取引プラットフォーム「DGP」運営、分散型電源アグリゲーションサービスの提供